



鹿屋発のポップカルチャーイベント



10月5・6日、リナシティかのやで「りなかる！」が開催されました。これはアニメや漫画といったポップカルチャーを主軸として、コスプレや声優のライブ・トークイベント等を実施するイベント。今年は2日間の日程で開催され、バーチャルYouTuberとの交流やラッピングカー展示のほか、トレーディングカード交流会、eスポーツ体験などが行われました。

子どもたちが国際交流



10月2～4日にかけて、台湾のシュアンヨン小学校と上小原小学校、ジョンシン小学校と大黒小学校の子どもたちがそれぞれ交流を行いました。これは、市と台湾の学校が結ぶ連携協定に基づいた「グローバル教育推進事業」の一環。期間中には、英語・日本語による授業や給食体験などを通して交流したほか、ホームステイも実施され英語での異文化交流が図られました。

大浦町つながりで視察研修を実施



10月8日、たかくま石蔵館（上高隈町）で「南さつま市大浦民生委員児童委員協議会視察研修」が開催されました。これは、南さつま市大浦民生委員児童委員協議会と鹿屋市大浦町内会が同じ「大浦町」つながりということで事例発表等を通して交流を行ったもの。当日は高隈地区コミュニティ協議会による事例発表も行われ、有償ボランティアをテーマとして様々な意見交換が行われました。

華やかな白爛祭看護の技術を披露



10月5日、鹿屋看護専門学校で「第17回白爛祭」が開催されました。今年は「輝～今しかないこの一瞬を～」をテーマに、喫茶やバザーのほか、手浴体験等のリラクゼーション、血圧測定等も行われ、市内外から訪れた約250人は看護学生との交流を楽しんでいました。また、同日オープンキャンパスも行われ、学生たちが高校生等と意見交換を行ったほか、学んでいる看護の技術を披露しました。

長年の尽力が評価総務大臣表彰受賞



10月8日、「令和6年度行政相談委員総務大臣表彰」を受賞した持増重夫氏が、受賞報告のために市役所を訪れました。同氏は14年の長きにわたり、広く市民からの意見・要望に対応し解決するなど尽力し、その功績が評価されました。

マリンスポーツで世界の舞台へ



10月3日、デンマークで開催された「2024 ISA WORLD SUP AND PADDLEBOARD CHAMPIONSHIP」に出場し、11月にアメリカ合衆国で開催される大会に出場する芝原叶妃選手（鹿屋中央高校2年）が市役所を訪れました。

日本の空で鹿屋市を紹介



10月1日、㈱ソラシドエアの関係者が市役所を訪れ、機内誌「ソラタネ」に本市関連記事を掲載することを市長に報告しました。伊藤智将執行役員は「市内企業とのご縁で発行できた。今後はイベント等でもコラボできたら」と話しました。